

委員会	八幡小学校区	議会答弁
議会全体及び 総務文教常任委員会	<p><議会報告></p>	<p>○様々地域のご意見を伺いました。議員はそれぞれの地域から出ていますが、議会は市内全域を俯瞰しています。 ○場外車券場についても議会での議論は半々です。これから頂いたご意見を参考に委員会や本会議で結論を出してまいります。また生活弱者に手を差し伸べるのが行政ですし、地域の多様な声を行政に伝えるのが市議会の役割でもあります。 ○千曲市にあっても自前の年収は約75億円で、一方いわゆる福祉予算の民生費は80億円あまり、市民の皆様の要望にもなかなかお応えできていません。やはり自前の年収を増やさなければ、そのために議会としても多くの提言をしています。 ○市内の工業地域・商業地域・観光地域・農業地域それぞれが売り上げを増やして、その年収を市内全域で活用し、もっと住みやすい市にしていけることが私たち議会の役割でございますので、どうかこれからも議会の活動に注目していただきたいと思っております。</p>
	<p>○日本遺産「月の都 千曲」の推進事業について、まずは、市民に「月の都」の魅力を知ってもらうことが大事ではないか。そのために「月の都」バスツアーを活用して、小中高生はもとより高齢者にも参加してもらおう。高齢者の“いきいきサロン”にも使ってもらおうなど検討できないか。</p>	<p>○千曲市は3回目のエントリーで、昨年6月19日に日本遺産に認定されました。市では企画政策部に部局横断の「日本遺産推進室」を設け、4月6日には「千曲市日本遺産センター」がプレオープンし、PR看板の設置やバスツアーなどの各推進計画が実行されています。 ○建設経済：バスツアーの開催について、市内29の文化財とストーリーですが市民の皆様もご存じないものもあると思っております。高齢者ばかりでなく多くの市民に“日本遺産「月の都 千曲」”を知っていただくことが大切だと考えます。特に子供たちには、千曲市の優れた文化財を知ってもらい将来は故郷に戻れるように、多くの方がストーリーを学び触れ合う機会を多く持つように“バスツアー”の活用を呼び掛けてまいります。</p>
福祉環境常任委員会	<p>○障害者には大きく分けて3種類あり、身体障害・知的障害・精神障害となりますが、市の福祉医療費給付金事業では精神障害者だけが入院医療費の給付がされていません。家族会として市長にも陳情に行きましたが、税金を拠出することでありすぐには難しいという返事でした。そこで市民を代表する市議会に今後「請願」を出したいと思っております。</p>	<p>○ご意見はよく分かりました。請願を出していただければ公に議論が出来ますので是非提出をお願いします。</p>
	<p>○昨年東京からUターンで帰ってきましたが、今の地域では年をしてから大変に暮らしづらい場所だと感じています。近くにスーパーなどのお店も公共施設もありません。周りが高齢者世帯を見ても、車の免許を返納してしまうと買い物も農業も困難になります。たとえばシルバーカーへの援助とか、もっと高齢者が暮らしやすい地域づくりを考えていただきたいと思っております。</p>	<p>○市内では車がなければ暮らしづらい地域は多くありますが、便利なことだけで幸せかということもあります。老後の安心・安全な暮らしを実現するために社協や市の福祉が、現在地域での支え合いの核となる「地域包括支援システム」の充実に取り組んでいます。</p>
建設経済常任委員会	<p>「月の都さらしな」の素晴らしい場所に車券売り場は作ってほしくない。それよりも今、都会でもがき苦しみ炊き出しの列に並んでいる若者を千曲市へ呼び、荒廃農地再生や高齢者農家に迎えて市の活性化や発展につなげるような取り組みをお願いしたい。</p>	<p>○千曲市の魅力を発信し、移住・定住策を推進するとともに、いただいたご意見を参考にして、課題解決につなげて参ります。</p>